

## 家族支援研究室（鈴木 彬子先生）

### ▶鈴木先生はどのような研究や活動に取り組んでいますか？

保育者の専門的知識・技術に基づく子育て支援の実践を研究しています。子どもに対する保育の様々な機会を活用した保護者支援の展開について考えています。

学生のみなさんとは、保育を学び、子どものみかたになる同志として、共に学び・考える関係を築きたいと思っています。保育を学ぶ過程には、自分を見つめる機会が沢山あります。自分の意見を持つことを大切にしていきましょう。

【担当科目】保育者論、子育て支援、保育実習指導Ⅰ・Ⅱなど

### ▶この研究室やゼミ（4年次）のことについて教えてください。

鈴木彬子ゼミでは、卒業研究が自分の中にある保育観や子ども観に気づく機会となるように、自ら設定したテーマに対して答えを求めて調査を行い、論文を執筆します。

「子育て支援」とは「保育者が保護者を支援すること」でしょうか？ 実は、保育所や幼稚園、こども園で行われる子どもに対する保育に保護者が参加・参画することも子育て支援の実践です。このように幅広く奥深い子育て支援の実践に関するテーマを中心に、保育者の専門性といった学生の幅広い興味関心について、まずは相談により研究動機を確認し、テーマや研究方法について一緒に考えていきます。

ゼミの仲間と議論すること、そしてインタビューやフィールドワークを通して保育者や支援者、保護者の声を聴くことを通して他者の考えに触れ、自分の中にある考えを明らかにしましょう。



### ▶もっと知りたい方へ（参考資料）

[主な著書]

- ・「Work で学ぶ保育原理」わかば社（共著）
- ・「日常の保育を基盤とした子育て支援  
ー子どもの最善の利益を護るために」  
萌文書林（共著）

